

愛保育園における自己点検・自己評価

2024(R6)年度

※今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に活かせる方向で記入してください

【記入方法】

・A・B・C・Dの4段階評価です。該当する欄に○をつけてください

・項目ごとに、意見・改善策を記述してください

項 目

◎保育計画の編成と実施に関する評価

A:たいへんよい
B:よい
C:一部検討を要する
D:改善を要する

| 項目 | 内容 | 評価 | | | | 意見・改善策 |
|----------------------|---|----|---|---|---|---|
| | | A | B | C | D | |
| い全体的な計画（保育課程）の目標について | (1) 職員一人一人が愛保育園の保育理念、保育目標を理解しているか | | ○ | | | 保育課程を基に年間および月案の計画を立案し、実行に移しました。計画通りに進められた部分もあれば、実施が難しかった箇所もありました。そのため、計画後も随時見直しを行い、柔軟に対応するよう努めている |
| | (2) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか | | ○ | | | |
| | (3) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか | | ○ | | | |
| | (4) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか | | ○ | | | 意見や要望には迅速に対応することを心がけており、その姿勢が保護者や職員との信頼関係の構築に繋がっていると感じている |
| | (5) 目標は、前年度の反省を生かしているか | ○ | | | | |
| | (6) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか | | ○ | | | |
| 保育について | (1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか | ○ | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・備品を丁寧に扱い、用具の整理整頓にも努めている。 ・昨年度の反省を踏まえて、夕方の時間にも戸外遊びを取り入れ、園児が身体を動かす機会を増やしてきた。 ・園児の月齢差を把握しながら、今後の活動内容を工夫して個々に合った活動内容を取り入れていく |
| | (2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか | | ○ | | | |
| | (3) 環境構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか | | ○ | | | |
| | (4) 素材・用具を適切に使用しているか | ○ | | | | |
| | (5) 評価結果を基に保育の改善に努めているか | | ○ | | | |
| | (6) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行で良いか | | ○ | | | |
| 食育について | (1) 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てているか | | ○ | | | <ul style="list-style-type: none"> ・年齢に配慮した、無理のない活動内容を心がけた。 ・食育に取り組むことが可能となっている。 ・食事中の事故防止に向けて、嚥下の状態などを保育現場の職員と話し合いを重ねた。 ・全体のバランスや色合い、見た目を考慮した献立づくり |
| | (2) 職員同士が連携し、会議などで意見を交わしながらよりよい給食になるよう努めているか | | ○ | | | |
| | (3) アレルギー疾患などの子どもに対し医師の指導のもと、保護者との連携を図り適切な対応を行っているか | ○ | | | | |
| 行事について | (1) 行事に種類や実施回数は適切か | ○ | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の行事反省点を改善しながら実行に移せたことは良かった。 ・行事ごとのファイルを作成したことで準備がスムーズになった ・今までもあったが、卒園生を招いての内容を練り直したことはとてもよかった。 |
| | (2) 行事のねらいを計画や実施に十分に生かしているか | | ○ | | | |
| | (3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか | ○ | | | | |
| | (4) 計画(P)・実施(D)・評価(C)・改善(A)の体制を取っているか | ○ | | | | |
| | (5) 保護者の願いや意見を取り入れているか | | ○ | | | |

◎保育環境と保育内容に関する評価

| 項目 | 内容 | 評価 | | | | 意見・改善策 |
|----------|---|----|---|---|---|--|
| | | A | B | C | D | |
| 保育環境について | (1) 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるように配慮している | ○ | | | | ・日常の中で気づいた際には、自ら清掃に取り組む姿勢を意識している。 |
| | (2) 室内外の衛生面・安全面に配慮している | | ○ | | | ・就学に向けて身の回りの整理や清掃を少しずつ体験させるよう働きかけている。 |
| | (3) 生活の場にあった保育者の声、音楽など音に配慮しているか | | ○ | | | ・低年齢児は玩具を口に入れなめる行動が多いため、玩具の衛生状態や大きさに十分配慮して与えている |
| | (4) 子ども達の発達や興味関心にあった遊具が準備・提供できているか | | ○ | | | |
| | (5) 自然や季節感を感じ取れるような工夫ができているか | | ○ | | | ・子ども達の発達段階に応じた玩 |
| 保育内容について | (1) 一人ひとりの子どもの出生時の状況、発達、発達など細かに把握すると共に保護者の状況などの背景も理解しているか | | ○ | | | ・特性や発達に応じた関わりについて、専門機関への相談を検討している。 |
| | (2) 離乳は家庭と連携を取りながら育ち具合に添った食事の提供が来ているか | ○ | | | | |
| | (3) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか | | ○ | | | ・子どもの特性を把握したうえで、感謝と配慮の声かけを意識していきたい。 |
| | (4) 子どもの要求や訴えに対して、子どもの気持ちを受け止め、状況に応じて適切な対応をしているか | | ○ | | | |
| | (5) 基本的な生活習慣や、生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応しているか | | ○ | | | ・製作活動では、自由な発想を促す機会も取り入れ出来るだけ見本を見せず想像する力を養っていきたい。 |
| | (6) 子どもの様々な活動を自由に体験できるような環境の整備がされているか | | ○ | | | |
| | (7) 自然や季節を感じ取れるような保育の提供や展開が来ているか | | ○ | | | ・自然とのふれあいを保育にさらに取り入れていく。 |
| | (8) 生活や遊びを通して、数・量の感覚が身につくよう工夫しているか | | ○ | | | |
| | (9) 散歩や行事などで、子ども達が主体的に地域の人と接する機会を作っているか | ○ | | | | |
| | (10) 様々な素材を使って、描いたり、作ったり、自由に表現できるように配慮されているか | | ○ | | | ・ルールのある遊びを通して、勝敗へのこだわりが軽減できるようにしていきたい。また、並ぶ・待つ習慣が身についてきている |
| | (11) 身体を使った様々な表現遊びが取り入れられているか | | ○ | | | |
| | (12) 絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れているか | ○ | | | | |
| | (13) けんかの場面では、危険の無いように注意しながら子どものプライド、自立性を尊重し、子どもたち同士で解決するように援助しているか | | ○ | | | ・引っ掻きや噛みつき行動への対応は、担任間で共有しあい、できるだけ目を離さず、すぐに対応できるように心掛けた。 |
| | (14) 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮しているか | | ○ | | | |
| | (15) 広く社会性が身につくよう、異年齢の子ども達や様々な年齢層の人たちと交流しているか | | ○ | | | |

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

| 項目 | | 内容 | 評価 | | | | 意見・改善策 |
|------------------|----------------------------|---|----|---|---|---|---|
| | | | A | B | C | D | |
| 経 営 組 織 | 分 掌 ・ 体 制 | (1) 能率的、合理的な運営組織になっているか | | ○ | | | 複数担任体制により、日々の保育を協力して進めることができ、大変ありがたく感じている。また、職員間で支え合える環境が整っていることで、安心して休暇を取得できる点が働きやすさに繋がって |
| | | (2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか | ○ | | | | |
| | | (3) 職員の配置は適材適所か | ○ | | | | |
| | | (4) 係りや仕事の分担・割り当ては適切か | ○ | | | | |
| | | (5) 保育の質の向上や改善のための取組について、意図的・計画的に実施しているか | | ○ | | | |
| | 運 営 態 度 | (1) 各種会議を適切かつそれぞれ全体的な立場を理解し、協力や助言を惜むことなく施設の運営に関わっているか | | ○ | | | 特定の職員に業務が偏らないよう、協力体制を意識しながら保育を進めるよう努めている。・職員会議は時間内に終了できるよう、話題が逸れないよう留意している。・園内研修の内容を検討し、職員全体のスキル向上に繋がっていきたいと考えている。 |
| | | (2) 打合せの回数、時間、内容は適切か | ○ | | | | |
| | | (3) 運営改善の課題について把握し、計画的な取組みを行うと共に、定期的に検証・見直しをしているか | | ○ | | | |
| | 施 設 長 の 役 割 | (1) 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明しているか | ○ | | | | 定期的に園長と面談があるので、悩みなどを話せる機会があるのが良い |
| | | (2) 施設長は、質の向上に意欲を持ちその取組みに指導力を発揮しているか | ○ | | | | |
| | 経 理 納 | (1) 各種会計に適正かつ適切に行っているか | ○ | | | | 会計は適正、適切に処理されている |
| | ク ラ ス 経 営 | (1) クラスの目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか | ○ | | | | ・正職とパートの垣根が無いよう、同じ方向を向いて保育できるよう職員間で積極的に話し合いを重ねながらクラス運営を行い、話しやすい環境の重要性を改めて実感した。 ・倉庫内の整理整頓については、見やすく取り出しやすい状態を維持できるよう心がけている。 |
| | | (2) 個人別・クラスの目標は、乳幼児の実態に即しているか | | ○ | | | |
| | | (3) クラスの目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか | | ○ | | | |
| | | (4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか | ○ | | | | |
| | | (5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか | ○ | | | | |
| | | (6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか | ○ | | | | |
| | | (7) 園の備品や教材・教具等の点検、管理が出来ているか | ○ | | | | |
| | | (8) 園の備品や教材・教具等の全てにおいて大切に使うことができているか | ○ | | | | |
| | 保 健 指 導 | (1) クラス運営に活かせるような具体的(手洗いうがい・アレルギー対策など)保健対策を講じているか | ○ | | | | ・下痢、嘔吐、発熱や体調の変化時には、保護者への対応を適切に行っている。お迎えに時間がかかるご家庭もあり、対応の難しさを感じる |
| | | (2) 睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察する等SIDSなどへの要望に努めているか | | ○ | | | |
| | | (3) 健康で衛生的な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか | ○ | | | | |
| | | (4) その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために日常的な体調や機嫌の状態をつかむよう努めているか | ○ | | | | ・研修にあるようにしっかりと睡眠チェックを行っていく ・絵紙芝居や絵本などを活用し、子ども自身が体調管理の大切さを理解できるよう働きかけている。 |
| | | (5) 感染力の強い(インフル・ノロ等)病気に罹患した際、ご家庭への適切な対応を行っているか | ○ | | | | |
| | | (6) アトピー性皮膚炎、食物アレルギー等の子どもに対して医師の指導のもと適切な対応をしているか | ○ | | | | |

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

| 項目 | 内容 | 評価 | | | | 意見・改善策 |
|-----------|--|----|---|---|---|---|
| | | A | B | C | D | |
| 研究・研修 | (1) 研修の計画・運営は適切か | ○ | | | | <p>研修で得た学びは、速やかに職員間で共有し、日々の保育に活かしていきたいと考えている。</p> <p>研修報告書だけでなく、Teamsなどで直接話を聞く機会があることで理解が深まり、より実践に繋がると感じている。</p> |
| | (2) 研修・研究の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか | | ○ | | | |
| | (3) 研修・研究の実践による幼児理解が深まりを見せているか | ○ | | | | |
| | (4) 各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか | ○ | | | | |
| | (5) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか | ○ | | | | |
| 情報について | (1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか | ○ | | | | <p>個人情報は適切に扱われている</p> <p>公文書の授受、発送、処理は適切に行われている</p> <p>重点目標は設定されている</p> |
| | (2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか | | ○ | | | |
| | (3) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか | ○ | | | | |
| 安全指導 | (1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか | ○ | | | | <p>・交通事故等のニュースを保護者にも伝え、屋外では手をつなぐことの大切さを日々の保育の中で伝えている。</p> <p>・不審者対応では、さすまたの使用に不安があり、今後の確認が必要と感じている。</p> <p>・発達段階に見られる行動(引っ掻き・噛みつき等)について、保護者向けに資料を配布し周知を図った。</p> |
| | (2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか | ○ | | | | |
| | (3) 不審者に対する周到な配慮を行っているか | | ○ | | | |
| | (4) 掲示板、掲示場所などを適切かつ効果的に活用しているか | ○ | | | | |
| | (5) 避難訓練・交通安全指導を計画的に基づいて適切に実施しているか | ○ | | | | |
| | (6) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関などと連携を図っているか | ○ | | | | |
| 入所児童の人権尊重 | (1) 子どもの思いや意見を、はっきり言うことができるよう配慮し、それを尊重しているか | ○ | | | | <p>・子ども同士のトラブルは、見守りながら保育者が仲介役となることで、子ども同士が他者の気持ちを理解し、認め合う姿勢を育めるよう支援している。</p> <p>・発達に個人差のある子どもへの援助は難しさもある。</p> <p>自分の対応が適切かを探りながら、子どもが戸惑わないよう配慮している</p> |
| | (2) 一人ひとりの子どもの心身の状態、生活習慣や文化、家庭の事情、考え方等の違いを知り、それを尊重する心を育てているか | ○ | | | | |
| | (3) 子どもの態度、服装、遊びなどで性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮しているか | | ○ | | | |
| | (4) 保育者は子どもの人権尊重を意識して保育を行っているか | | ○ | | | |
| | (5) 子どもの性格、成長などを考慮した言葉掛けや、援助ができているか | | ○ | | | |
| | (6) 子ども同士が人権を尊重し合えるような保育を心がけているか | ○ | | | | |
| | (7) 日本語によるコミュニケーションが困難な保護者に対して、園の意向や連絡事項が正しく伝わるよう努力や工夫をしているか | | ○ | | | |

◎ 園で働く職員としての評価

| 項目 | | 内容 | 評価 | | | | 意見・改善策 |
|-----------|-----------|---|----|---|---|---|--|
| | | | A | B | C | D | |
| 開かれた保育所作り | 他施設間交流・連携 | (1) 他施設との年間交流計画は、教育・保育目標や課題にそったものになっているか | | ○ | | | 就学前の子どもたちが小学校へ訪問し、小学生と触れ合う機会があるのは良いと思う。 園長や校長同士の話し合う機会がもう少しあると、「架け橋プログラム」などへ反映できるのではないかと思う |
| | | (2) 他施設等の幼児児童施設生徒と触れ合う中で乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう事が出来るような配慮や援助・支援を行っているか | | ○ | | | |
| | | (3) 施設長同士が、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか | | ○ | | | |
| | | (4) 参観や保育・授業などに参加するなどして、地域施設の教育を把握しているか | ○ | | | | |
| | | (5) 日常的に情報を交換し、それを交流に活かしているか | | ○ | | | |
| | 家庭・地域との連携 | (1) 日々の園での様子を伝え、家庭での様子を聞く中で子どもの育ちを共に考え、喜びあうことができているか | ○ | | | | 済生会で行われた「からだ健学祭」への参加は、ステージ発表だけでなく、身体の学びにもなった |
| | | (2) 保護者からの意見や提案があった時、快く対応しよう心掛けているか | ○ | | | | |
| | | (3) 乳幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか | ○ | | | | |
| | | (4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか | ○ | | | | |
| | 子育て支援の推進 | (1) 園には子育て相談などの「地域の子育て支援」という役割が求められていることを理解できているか | | ○ | | | 療育施設の方の研修があったのは良かった。 |
| | | (2) 子育て相談にあたっては、連携すべき機関(区役所・ウェルパル・児童相談所・医療機関等)の機能について理解できているか | | ○ | | | |
| | | (3) 職員による育児に関わる「子育て相談」は充実しているか | ○ | | | | |
| | | (4) 療育機関・医療機関・児童相談所等の専門機関と連携を取り、保護者にとって必要な情報を提供できているか | ○ | | | | |
| | 情報の配信 | (1) 園だより・クラス便り・ホームページ等で施設の情報を発信しているか | ○ | | | | 情報はインターネット、紙媒体で発信するようにしている |
| | | (2) 行事や子育て支援事業を、地域の連絡会や児童施設・小学校に対して周知しているか | ○ | | | | |
| | 外部評価 | (1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか | | ○ | | | 保護者アンケートは年に複数回実施している。 |
| | | (2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか | | ○ | | | |
| その他 | 意識・こころもち | (1) 会議等で必要と思う質問や意見を発言できているか | | ○ | | | ・職種ごとの専門性を活かし、会議等で積極的に意見を発信できるよう努めたい。 ・広い視野を持ち助け合える環境づくりのため、率先して声をかけていくことを意識している。 |
| | | (2) 自分の意見と違う結論が出たときそれに従って気持ちよく協力し、実行できていますか | | ○ | | | |
| | | (3) あなたは本来の業務以外に園に関わる仕事を頼まれたときそれも職務の一端と考え、責任を持って引き受けていますか | ○ | | | | |
| | | (4) 自身のクラスの事でなくとも状況を見て気配りや協力することができ自ら進んでできていますか | | ○ | | | ・保護者との関わりが深まる中で、適切な距離感を保てるよう、自身の中で意識的に線引きをしている。 ・パート・正職を問わず、気持ちよく働ける職場づくりのため、挨拶や声かけの大切さを改めて感じている。 |
| | | (5) 子どもの名前を呼び捨てやあだ名で呼ばないように心掛けていますか | ○ | | | | |
| | | (6) 保護者との会話や対応で親しみ過ぎて友達のような関係性になっていないか | ○ | | | | |
| | | (7) コミュニケーションの基本の挨拶や会釈は職員間や近隣住民に率先してできていますか | ○ | | | | ・地域行事への参加を通じて、卒園児や保護者との再会の喜びを共有できる機会を大 |
| | | (8) 服務にもあるように保育者として相応しい身なり(服装・化粧・頭髪)を守れていますか | ○ | | | | |
| | | (9) | | | | | |